

# 春のハイキングに参加して 「津島神社と天王川公園」を訪ねる

2026年5月9日（土）

1. ルート 名鉄佐屋駅前～千本桜公園～津島神社～清正公社～成信坊～  
天王川公園（昼食）～名鉄津島駅 約11.5 km
2. 参加者 市川義行、伊藤禎規、伊藤利男、伊橋健治、喜吉 雄、塩野輝雄、  
高木勉、伝田 貢、中村軍志、中村衛、濱田 一、東工、（敬称略）12名
3. 参加報告

今回は、名鉄弥富駅集合・佐屋駅出発点として、愛知県津島市の津島神社と天王川公園を訪ねる「春のハイキング」を開催しました。皆さんの心がけが良いのか良き天気恵まれ最高のハイキング日和となりました。



名鉄弥富駅⇒佐屋駅  
出発地到着



参加メンバーは、ウォーキング部の方々を含めて総勢12名で、目的地である津島神社を目指してイザ出陣。

まずは、全員集合で朝のミーティング（行先説明など）が始まりました。（10:00）



## 濱田さんよ説明



先導者が目的地の方向を確認して線路を渡り、15分ほど歩いたところで、「なんか方角が？」となり、反対方向へ進んでいたようです。

地図を確認（スマホでも確認）して、近くにいた方に位置確認して、間違いに気づき気を取り戻して、出発した駅まで戻り再出発。（30分ほどのロスタイム）



津島神社手前の昼食予定場所(天王川公園)で小休憩、藤の花を見るのは、少し遅かったようです。（11:30）

かなり疲れた模様で、やっと津島神社に着きました。(11:50)

神社の手洗いは「手水舎(てみずや/ちょうずや)」と呼び、参拝前に心身を清める場所です。柄杓で水をすくい、左手・右手・口(左手で受ける)を順に清め、最後に柄杓を立てて柄を洗うのが正しい作法ですが、皆さんはどうでしたか?

津島神社は古くは津島牛頭天王社と申し今日もなお一般に「お天王さま」と尊称されております。

大神は国土経営・産業開発にお力を致され民生の安定に限りないご仁慈を垂れさせられた御神徳は広大であります。わけても津島のお社は人の身に起こる災厄と疫病(はやりやまい)除けの守護神として、また授福の大神としてあまねく世に知られて居ります。



次に目指すは、清正公社（加藤清正ゆかりの地）（12:12）

戦国時代に勇猛な武将として知られる加藤清正が、少年時代を叔父の家に居候していた頃、深夜に賊が侵入したとき、清正が鬼の面をかぶって現れると賊は驚いて逃げ去ったという逸話があるのがこの神社です。



次に訪れたのは、成信坊（真宗大谷派の寺院：山号は久遠山）（12:20）

津島市有数の規模を持つ寺院とされる。境内の山門脇には白梅の大木がある。山門の奥には巨根のマツが枝を広げている。その他にはクロガネモチ、イブキ、サクラの巨木がある。石畳となっている参道は臼でできており、ひきうす寺という愛称の由、来となっている。



目的地である名所を歩きまくり、最大の目的地である「天王川公園」でのランチパーティが始まりました。(12:50)



全員で乾杯！

パーティー場所の設定



楽しそうな  
ランチパーティー



ワイワイガヤガヤと話に花が咲き会話が弾み、  
楽しい雰囲気次々と話題が出て、  
素敵な時間が過ぎ片付け完了。(14:20)



本日の目的はほぼ達成できたので、各自が  
帰宅準備のために最寄り名鉄津島駅向け  
て、レッツゴー。しかし、皆さん疲れ切っ  
て「体力・心の力」が極端に落ちた模様。  
(14:45)

【無事乗込】名鉄津島駅到着⇒名鉄弥富駅⇒(徒歩)近鉄弥富駅⇒各自最寄りの駅⇒各自帰宅



参加者全員が、怪我無く、トラブル無く、  
自宅まで辿り着くことができました。  
皆さん、お疲れ様でした。

**当日は気持ちが良いほど良き日で好天に恵まれたハイキングでした。結果的には、皆さんの日ごろの行いの成果でしょうか。**

**= それでは次回秋のハイキングで、また元気いっぱいの笑顔でお会いしましょう。 =**

# 【ハイキングコース地図】



支部事務局  
伊藤禎規